

中学校第3学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから14ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語B」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、**濃く、はつきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語B」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

全国新聞

2009年(平成21年)

6月20日
土曜日

政治	4面
国際	7面
経済	9・11面
スポーツ	16・17面
文化	20面
地域	26・27面

2009年(平成21年)6月20日(土曜日) (日刊)

全国新聞

第220420号

1 2版

1

今も色あせない魅力

太宰治生誕100年

「走れメロス」「人間失格」などの作品を残した作家・太宰治(1909〜48)が、昨日19日で生誕100年を迎えた。各地で様々な催しが行われる中、太宰ゆかりの地、東京都三鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせることのない太宰の魅力が改めて浮き彫りにした形となった。

〔関連記事20面〕

太宰が亡くなっていく彼の39歳の誕生日でものが発見された48あり、その命日は桜桃(昭和23)年6月19日は忌と呼ばれている。命



「太宰治文学サロン」を訪れ、説明を聞く来館者

名したのは太宰と同郷で青森県出身の直木賞作家・今宮一。太宰の作品「桜桃」にちなんで付けたと言われ、今年で61回目を迎えた。太宰にゆかりのある各地には、今年も多くのファンが集まった。友人と一緒に太宰の墓のある禅林寺(三鷹市下連雀)を訪れた千葉県の会社員(33)は「中学生のときに『走れメロス』を読んで以来の太宰ファン。弱さを隠さない純粋さが最大の魅力。今もなお新しい発見がある」と語った。

太宰が晩年を過ごした三鷹市では、昨年3月、太宰が通った伊勢元酒店の跡地に「太宰治文学サロン」を開設した。「このサロンは展示された資料を見るだけではなく、訪れた太宰ファンが様々な情報や自分の思いを語り合える交流の場にもなっている」と関係者は語る。

今月は、18日まで延べ2485人が来館。昨日は1179人が訪れ、1日当たりの来館者数としては過去最高を記録した。サロンを訪れた京都府に住む大学3年生(21)は「ここで初めて出会った人と太宰の話で盛り上がった。外国人の太宰ファンも来ていて驚いた。また来たい」と笑顔で話した。

シリーズ 広がる「食育」

最終回

「弁当の日」という取り組み

が全国の学校に広がっている。香川県のある小学校では、5・6年生の児童が、年5回自分たちだけで作った弁当を食べている。ここでのねらいは、子どもの「自立」。自分の食べるものを自分で作ることを通

食育の思い

して生まれる自信や、多くの人のおかげで食事をすることができるようになると考えている。自立につながるかと考えている。全国的に見ると、学校給食に地域の食材を積極的に取り入れたり、伝統的な郷土料理を献立に盛り込んだりすることも広く行われている。これは地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承

しようとする思いを育てることになる。「食育の日」に合わせて、今週は各地の様子を紹介してきた。食に関する取り組みは、健全な心身の成長と、自分を取り巻く人々の思いを理解することに繋がる。

食への思いを育てる様々な取り組みに今後も注目していく。

コラム

最近、文学作品を身近に感じさせる動きが盛んだ。文庫本のカバー一つとつてみても、人気漫画家によるイラストや、芸能人の写真がデザインされているものがあり、文学ファンでなくても思わず手に取りたくなってしまう▼横書きで書かれた小説や電子書籍の売れ行きも好調であると聞く。今に始まったことではないが、いわゆる名作を漫画化したものが売れている現実も見逃せない▼こうした動きは、特に若い世代に向けて、文学作品との新しいかわり方を提案していると言つてよいだろう。作者や内容にひかれるもよし、本のカバーにひかれるもよし、出会い方は自由であつてよい。本の魅力を知る機会を得ることが大切なのだ▼文学作品との出会い方や味わい方が多様化しても、本に描かれた世界を通して自分なりに価値を発見したり、新たな自分を創造したりしていくことに変わりはない▼来年は国民読書年。本を手取る若い世代を大いに歓迎したい。

1

上の新聞を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 一 「太宰治文学サロン」が開設されたのはいつですか。次の（ア）と（イ）に当てはまる数字をそれぞれ書きなさい。

【「太宰治文学サロン」が開設された年月】

平成（ア）年（イ）月

- 二 この紙面のトップ記事「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」と「コラム」との書き方の違いを説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 トップ記事は結果を示してからその背景や原因を書いているが、コラムは時間の経過に沿って順番に書いている。
- 2 トップ記事は事実を中心に客観的に書いているが、コラムは事実だけでなく書き手の意見や感想も交えて書いている。
- 3 トップ記事は最新の出来事取材した上で書いているが、コラムは過去の情景を的確に描写しながら書いている。
- 4 トップ記事は様々な事柄を示してから結論を書いているが、コラムは結論を述べてからその根拠となる事柄を書いている。

- 三 あなたは三つの記事の中で、どの記事の内容に興味をもちましたか。選んだ記事の内容について、次の条件1と条件2にしたがってあなたの感想を具体的に書きなさい。

条件1 A「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」、B

「シリーズ 広がる『食育』」、C「コラム」の三つの記事の中から一つ選ぶこと。

条件2 選んだ記事のどのような内容について興味をもったのが分かるように書くこと。

全国新聞	A 「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」
B 「シリーズ 広がる『食育』」	
	C 「コラム」

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

← 選んだ記事の記号に○を付けなさい。

記事の記号

A B C

選んだ記事の内容についての感想

--	--	--	--

問題は、次のページに続きます。

山本さんは、調べたことをまとめて発表する学習に取り組んでいます。次は、山本さんがまとめた【ノート】と、発表の際に【提示する資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【ノート】

4月12日

消しゴムについて

1 何からできているのか？

現在、広く使われているプラスチック製消しゴムの主な原料は、塩化ビニル樹脂、可塑剤、炭酸カルシウムなどである。

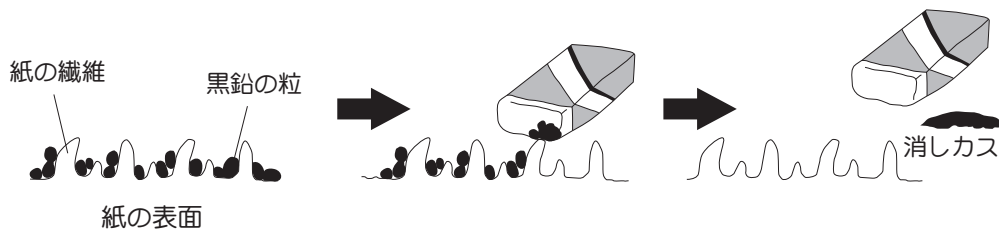
2 どうやって作るのか？

原料をかくはん機と呼ばれる機械の中に入れ、よく混ぜる。このときに着色剤や香料を加えると、色や香りの付いた消しゴムを作ることができる。混ぜ合わせた原料を型に入れ、約1時間加熱し、固める。固まった板状の消しゴムを型から取り出し、必要な大きさに裁断する。

3 どうして消せるのか？

「字を書く」とは、紙の繊維の間に鉛筆の芯に含まれる黒鉛が入り込むこと。逆に、「字を消す」とは、この黒鉛を紙の繊維から取り除くこと。消しゴムで字をこすると、黒鉛の粒が消しゴムの表面に引き付けられる。これは、可塑剤と黒鉛とが互いに引き合う性質を利用している。引き付けられた黒鉛の粒が丸め込まれ、消しカスとなる。

図にするとこんな感じ ↓

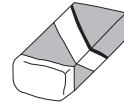


4 ケースは必要なのか？

紙のケースは、消しゴムの保管に大切な役割を果たしている。「使ったあとはこのケースに入れてください。」と書いてあるのは、消しゴムが他のプラスチック製品とくっつくのを防ぐため。これは、消しゴムに含まれている可塑剤が他のプラスチック製品に作用して軟らかくする性質をもっているからである。

※ 筆箱の中で定規と消しゴムとがくっついてしまうことがあるのは、消しゴムに含まれる可塑剤が原因。

消しゴムについて



3年1組35番 山本 はるか 1

消しゴムの原料

プラスチック製消しゴムの原料となるもの

- ・塩化ビニル樹脂
- ・可塑剤(かそざい)
- ・炭酸カルシウム など

2

消しゴムの製造方法

原料をよく混ぜる



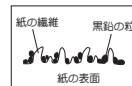
型に入れ加熱し、固める



型から取り出し、裁断する

3

字が消える仕組み



紙の繊維に入り込んだ黒鉛



黒鉛



消しカスとなった黒鉛

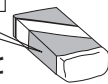
4

ケースの役割

- ・保管のために大切

「使ったあとはこのケースに入れてください。」

- ⇒他のプラスチック製品とくっつくのを防ぐ



5

— 山本さんの【提示する資料】について説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

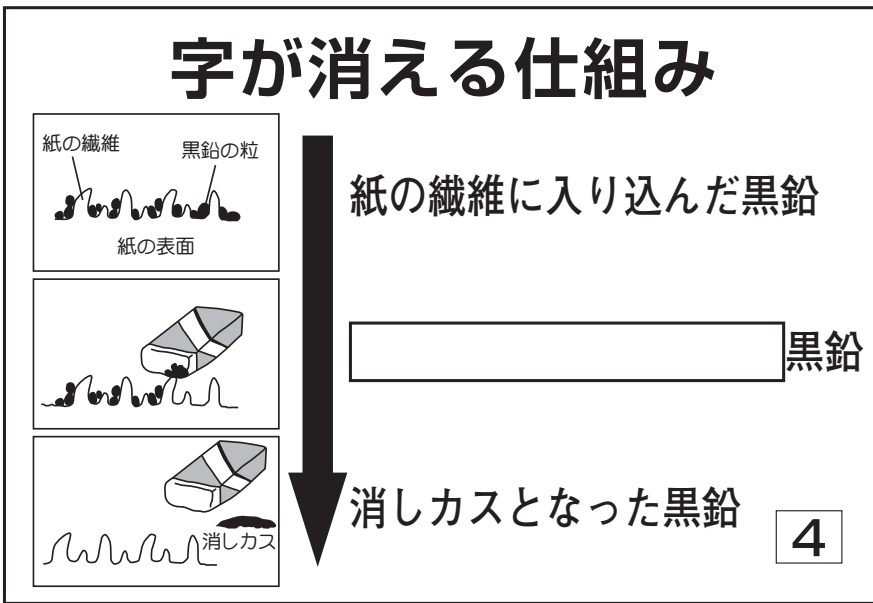
- 1 難しい内容を的確に伝えるために、それぞれの【提示する資料】の中の語句の意味を注によって示している。
- 2 調べたことと自分の考えとを区別するために、それぞれの【提示する資料】で文字の大きさを変えている。
- 3 話す内容に説得力をもたせるために、それぞれの【提示する資料】に自分の考えとその根拠を書いている。
- 4 伝えたいことを明確に示すために、それぞれの【提示する資料】の内容にふさわしい見出しを付けている。

二 【提示する資料】 4 の には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【フート】の中にある言葉を使って書くこと。

条件2 「黒鉛」という言葉に続くように、十五字以内で書くこと。

【提示する資料】 4



三 山本さんは、字が消えることを中心に発表しようと思い、「提示する資料」を修正することにしました。あなたなら、どのように修正しますか。〈修正の方法〉を次のAからCまでの中から一つ選びなさい（どの〈修正の方法〉を選んでかまいません。）。

その上で、〈修正の具体的なやり方とその理由〉をあとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈修正の方法〉

- A 【提示する資料】 ①のタイトル「消しゴムについて」を変える。
- B 【提示する資料】 ②から⑤の順番を入れ替える。
- C 【提示する資料】 ②から⑤のうちの何枚かを使わないことにする。

条件1 【提示する資料】の中にある言葉を使って書くこと。

条件2 六十字以上、九十字以内で書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

問題は、次のページに続きます。

3

次の文章は、明治時代に書かれた「吾輩は猫である」の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔ここまでのあらすじ〕 吾輩は猫である。名前はまだない。笹原(ささはら)の中に捨てられた吾輩は、食べ物求めて忍び込んだある家に住み着くようになった。教師をしているその家の主人には様々な客があり、吾輩は、人間とは思議なものだと思ひながら、主人や来客の姿を觀察している。

こう暑くては猫といえどもやりきれない^A。皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スミスとかいう人が苦しがつたという話があるが、たとい骨だけにならなくともいいから、せめてこの淡灰色(注3)の斑入り(注4)の毛衣だけはちよつと洗(注4)い張りでもするか、もしくは当分のうち質(注5)にでも入れたいような気がする。人間から見たら猫などは年(注6)が年じゅう同じ顔をして、春夏秋冬一枚看板(注7)で押し通す、至って単純な無事な銭のかからない生涯を送っているように思われるかもしれないが、いくら猫だつて相応(注8)に暑さ寒さの感じはある。たまには行水の一度ぐらいあびたくないこともないが、なにしろこの毛衣の上から湯を使った日にはかわかすのが容易なことでないから汗臭いのを我慢してこの年になるまで銭湯ののれんをくぐったことはない。おりおりは団扇(注9)でも使つてみようという気も起こらぬではないが、とにかく握ることができないのだからしかたがない。それを思うと人間はぜいたくなものだ。なまで食つてしかるべきものをわざわざ煮てみたり、焼いてみたり、酢(注10)に漬けてみたり、味噌(注11)をつけてみたり好んでよいいな手数をかけてお互いに恐悦(注12)している。着物だつてそうだ。猫のように一年じゅう同じ物を着通せというのは、不完全に生まれついた彼らにとって、ちと無理かもしれんが、なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮(注13)らさなくてもものことだ。羊(注14)の御厄介になつたり、蚕のお世話になつたり、綿畑のお情けさえ受けるに至つてはぜいたくは無能の結果だと断言してもいいくらいだ。

(夏目漱石「吾輩は猫である」による。)

(注1) シドニー・スミスイギリスの作家。

(注6) 年が年じゅう一年中。

(注2) たといとえ。

(注7) 一枚看板ここでは、一枚しかない衣服のこと。

(注3) 斑入りとまだら模様。

(注8) 恐悦とひどく喜ぶこと。

(注4) 洗い張り洗濯してしわを伸ばすこと。

(注9) 暮らさなくてものことだ暮らさなくても済むことだ。

(注5) 質にでも入れたい質屋にでも預けたい。

一 線部A「やりきれない」、線部B「相応に」とありますが、それぞれの意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つずつ選びなさい。

A やりきれない

B 相応に

- 1 役に立たない
- 2 落ち着かない
- 3 耐えられない
- 4 無視できない

- 1 それなりに
- 2 ささやかに
- 3 想像以上に
- 4 世代ごとに

二 線部「羊の御厄介になったり、蚕のお世話になったり、綿畑のお情けさえ受ける」とありますが、この部分は、人間が何をどうすることを表したのですか。十字以内で書きなさい。

三 山田さんと中川さんは、この文章で面白いと感じた点について話し合っています。次は、二人が【注目した表現】と【話し合いの一部】です。【話し合いの一部】で山田さんは、「③と④には、共通した面白さがあるよね。」と発言しています。あなたは、③と④には、どのような共通した面白さがあると考えますか。あなたの考えを、「【注目した表現】③と【注目した表現】④には、」に続けて、三十字以上、五十字以内で書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【注目した表現】

① 皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだとい
ギリスのシドニー・スミスとかいう人が苦しがつたとい
う話がある

② 淡灰色の斑入りの毛衣だけはちよつと洗い張りでもす
るか、もしくは当分のうち質にでも入れたいような気が
する

③ なまで食ってしかるべきものをわざわざ煮てみたり、
焼いてみたり、酢に漬けてみたり、味噌をつけてみたり
好んでよけいな手数をかけてお互いに恐悅している

④ なんにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさ
なくてもものことだ

【話し合いの一部】

山田 ①は、猫なのに物知りで、

人間でもあまり知らないよ
うなことを知っているところ
が面白い。

中川 ②は、できるはずのない

ことを、その気になればで
きるかのように語っている
ところが面白いと思う。

山田 ③と④には、共通した面

白さがあるよね。



平成 22 年度 全国学力・学習状況調査
平成 22 年 4 月 文部科学省